

委託費支出明細書

<p>1. 委託費の名称</p>	<p>平成 19 年度科学技術人材養成等委託費 「 粒子線がん治療に係る人材育成プログラム (粒子線がん治療に係る人材育成プログラムの諸業務) 」</p>
<p>2. 業務の目的及び内容</p> <p>(1) 目的</p> <p>(2) 具体的な内容</p>	<p>粒子線によるがん治療に係る専門的知識・技術を有する人材の育成のため、粒子線がん治療に係る放射線腫瘍医、診療放射線技師、医学物理士等治療施設の中核となる人材を、事業期間の 5 年間で 40 名程度養成することを目的とする。このため、財団法人 医用原子力技術研究振興財団を中心に、国立がんセンター東病院、国立大学法人 大阪大学、国立大学法人 筑波大学 陽子線医学利用研究センター、静岡県立 静岡がんセンター、兵庫県立 粒子線医療センター、独立行政法人 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター、財団法人 若狭湾エネルギー研究センター 粒子線医療研究室の合計 8 施設・機関が共同で業務を行う。</p> <p>財団法人 医用原子力技術研究振興財団では、中核機関として、粒子線がん治療に係る人材育成委員会等各種委員会を運営し、研修内容の企画・調査、研修内容の指導・評価に必要な事務、協働機関・関連学会との連絡調整などにより委員会を補佐し、人材育成カリキュラムの策定、育成資料の作成・改定、育成用備品配備の計画立案、専門講師派遣・ソフトウェア提供等の研修支援、教育機関・一般への事業の啓発・広報活動、育成対象者の選抜・配置、修了認定等各業務が円滑になされるよう各種取り纏め、協働機関の診療業務の妨げにならぬように庶務的業務を広く分担・実施し、本プログラムの運営・推進にあたる。</p> <p>①育成カリキュラムの策定 粒子線がん治療に係る人材育成委員会において、平成 20 年度以降に協働機関で行う粒子線がん治療に係る人材育成プログラムのカリキュラムを策定する。</p> <p>②研修用資料の作成 カリキュラムに基づくテキスト等研修用資料を作成する。</p> <p>③研修内容の企画・調査 効率的なカリキュラム実施のための研修支援内容についての調査、検討を実施する。</p> <p>④短期入門コースの準備・開催 平成 20 年度以降のプログラムに資する調査と事業の啓発・広報活動を兼ねて短期入門コースを開催する。</p> <p>⑤プログラムの総合的推進 プログラム全体の連携を密としつつ円滑に運営していくため、人材育成委員会や人材育成施設連絡調整部会の開催等、参画各機関の連携・調整を進める。 特に、プログラム全体の進捗状況を確認しつつ計画の合理化を検討し、外部有識者による人材育成評価委員会を開催して意見を聞くなど、プログラムの運営・推進にあたる。 プログラムで得られた成果については、積極的に公表し、今後の展開に資する。</p>
<p>3. 委託先の公益法人の名称</p>	<p>財団法人 医用原子力技術研究振興財団</p>

4.	委託実績額		26,760 千円 (A)
5.	委託費における管理費		
	(1) 人件費		9,917 千円
	(2) 一般管理費		2,433 千円
	(3) その他の管理費		
		内 容	金額
			千円
			千円
		合 計	千円
		合 計	12,350 千円
6.	外部への支出		
	(1) 外部に再委託されているものに関する支出		
		支出内容	支出先
			金額
			千円
		合 計	0 千円 (B)
	(2) (1)以外の支出		
		支出内容	支出先
			金額
		国内旅費	委員会委員旅費他
			1,584 千円
		諸謝金	委員会委員謝金他
			2,150 千円
		会議開催費	珈琲十番館他
			298 千円
		通信運搬費	虎ノ門郵便局他
			67 千円
		印刷製本費	(株) サンワ他
			3,315 千円
		借損料	(株) マスモト
			189 千円
		雑役務費	日本SGI(株)他
			6,222 千円
		合 計	13,825 千円
7.	その他		
		内 容	金額
		消費税相当額	585 千円
			千円
		合 計	千円
8.	再委託の割合		0 % (B/A)